

議会だより



小さな秋を見つけにいこう!!お散歩へGO!! (放課後子ども教室)

平成25年第3回定例会

9月定例会(補正予算他).....	2~3
国へ物申す(意見書案を採択).....	4
行政報告、教育委員の任命、自治功労賞表彰.....	5
委員会による町政の調査.....	6~7
町の財政は大丈夫.....	8
研修レポート.....	9
一般質問「ここが聞きたい」5氏が町政を問う.....	10~14
議会と議員の活動報告.....	15
元気なあつまの子・地域の話題(農業支援員).....	16

を含む補正予算 2 億 860 万円を全員賛成で可決し、 なりました。

9月定例会が9月11日に開催されました。

報告事項は、委員会の所管事務調査、財政援助団体等に関する監査の結果、定期監査の結果、現金出納例月の検査、教育委員会の事務事業の点検・評価、平成24年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の6件の他行政報告2件。

一般質問は、5人の議員が行い、同意事項は、町教育委員会委員の任命、自治功労賞表彰、承認事項は専決処分2件。議案は、8件ですべて全員賛成で可決し、平成24年度各会計決算の認定は、会期中に決算審査特別委員会を設置し、審査を付託しました。

定住化促進対策事業 (補正予算)

○イベント開催

11月9～10日の2日間、

東京丸の内JRビル(旧東京郵便局)で厚真町単独のイベントを行います。

内容

・移住、定住相談

・観光、特産品PR

・起業相談

・新規就農相談

・特産品販売

事業費 275万円

○宣伝媒体作成

ポスター、手さげ紙袋、包装紙、パンフレットを作成します。

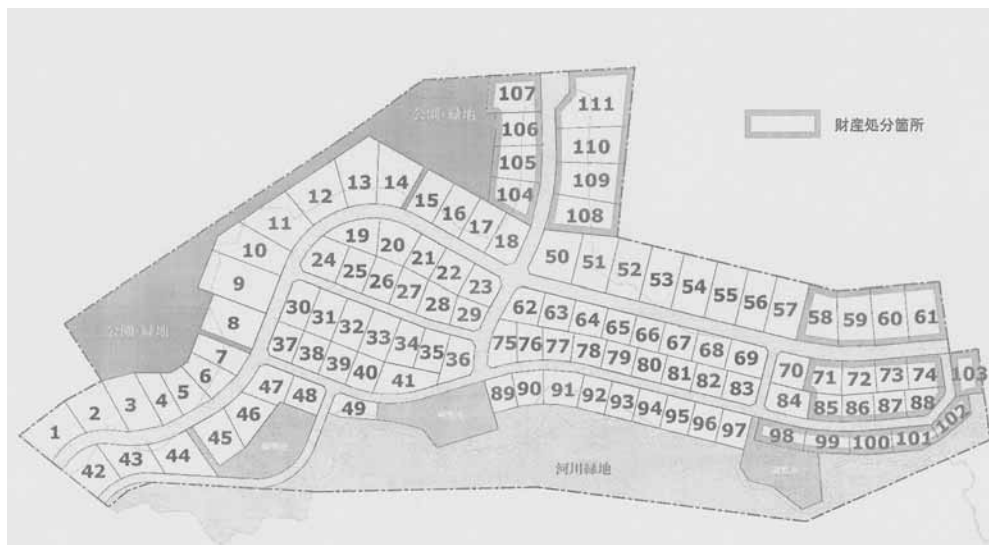
事業費 101万円

財源

町 205万円

道 120万円

その他 50万円



定住・移住者向けに追加分譲が行われてるフォーラムビレッジ

鹿沼地区排水路整備 事業

洪水対策として入鹿別川と長沼川を結ぶ排水路を整備します。

事業費 860万円

財源

町 520万円

道 340万円



第3回定例会

定住化促進対策事業 376 万円など、特別会計 特別会計を含めた予算総額は83億 3879 万円と

埋蔵文化財発掘事業

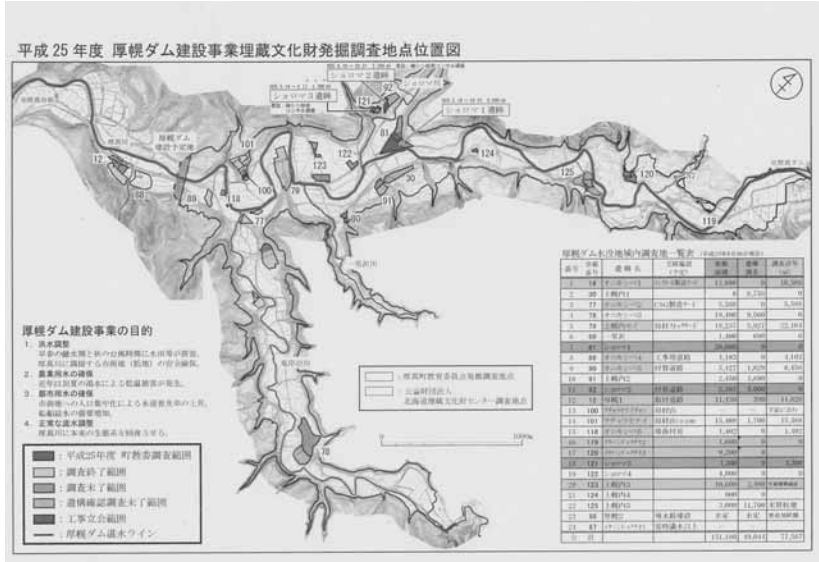
平成25年度発掘調査範囲が拡大になり、それに伴う調査委託費の増額です。

補正額 3296万円

(補正後の予算額3億4

886万円)

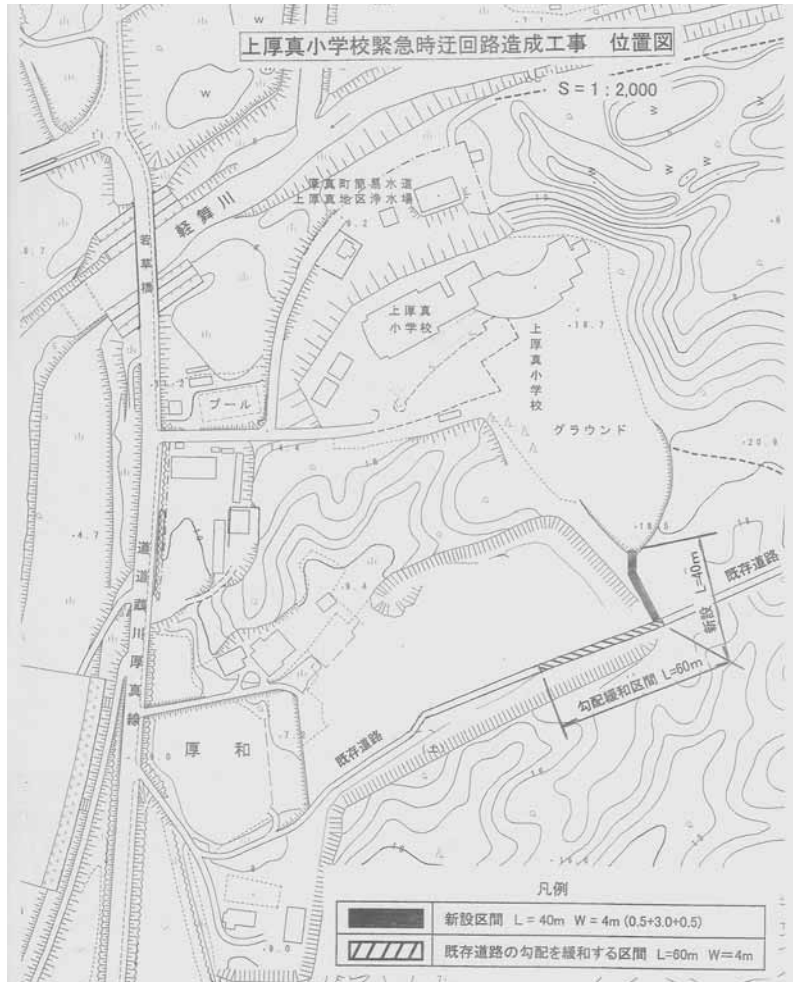
財源
道 3296万円



上厚真小学校緊急時迂回路造成工事(災害対策等整備事業)

緊急避難施設に指定されている上厚真小学校へ通じる道路を新たに造成します。

事業費 60万円
財源 町 60万円



農業担い手への農地集積推進事業

農地集積に協力するものに対して協力を交付します。

事業費 900万円
財源 道 900万円

意見書案を全員賛成で可決

国へ物申す

道州制導入に断固反対する意見書

我々町村議会は、平成20年以來、町村議会議長全国大会において、その総意により、「住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと。」を決定し、本年4月15日には、

全国町村議会議長会が「町村や国民に対して丁寧な説明や真摯な議論もないまま、道州制の導入が決定したかのごとき法案が提出されようとしていることは誠に遺憾である。」とする緊急声明を行った。さらに、7月18日には、「道州制は絶対に導入しないこと。」とする要望を決定し、政府・国会に対し、要請してきたところである。

我々の要請を無視するかの動きをみせている。これらのは法案は、道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村においては、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高いうえ、道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

提出先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
内閣法第九条の第一順位指定大臣（副総理）
内閣官房長官
総務大臣・内閣府特命担当大臣（地方分権改革）
・道州制担当

の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。

多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。

よって、我々厚真町議会は、道州制の導入に断固反対する。

提出者
町議会議員 今村昭一
賛成者
町議会議員 了安正秋
井上次男
海沼裕作
三國和江

しかしながら、与党においては、道州制導入を目指す法案の国会への提出の動きが依然としてみられ、また、野党の一部

採決
賛成全員で可決した。

採決
賛成全員で可決した。

町村は、これまで国民

町村は、これまで国民

町長による行政報告

安平・厚真・むかわ3町広域交流事業協定の終了

(スポーツ施設等の利用料金を相互に町民扱いとする事業)

安平・厚真・むかわ3町広域交流事業協定の終了についてご報告申し上げます。

安平町・むかわ町・厚真町で構成する東胆振3町広域交流推進協議会は、平成24年度末をもって解散し、調査研究事業やスポーツ交流事業等の広域交流事業が終了いたしました。スポーツ施設等の利用料金を相互に町民扱いとする共同事業は協定を再締結し、本年度も暫定的に取り組んできたところであります。

このような中で、長期的視点に立った効率的な行政運営の確立は各町共通の課題であり、本協定のあり方も含めて町民サービスの提供を検討する必要がありますことから、安平・むかわ両町に対して本協定終了の協議を進めてまいりましたところ、今般、協議が整い、平成26年3月31日をもって協定を終了する旨合意いたしました。

今後は、広くご理解を

得るため、各町それぞれで広報紙等により協定終了の周知を図ってまいりますが、これまで協定に位置づけていた公共施設は、協定終了後も広域的

な利用を制限するものではなく、引き続き、広域交流の場となるよう条例・規則に基づき運営してまいります。

(行政報告より抜粋)



町内では数少ない町内者と町外者の利用料金が異なるかしわ運動公園の施設

表彰

町の振興に対する
自治功労者に感謝

岡部 純氏

全員賛成

公職歴等

町議会議員
町監査委員
都市計画審議会委員
まちづくり委員会委員
防災会議委員
国民保護協議会委員
町商工会会長

人事

町教育委員会委員

森本早苗氏 再任

全員賛成



委員会による調査の報告がされました

7月17日に緊急雇用創出推進事業（宅配サービス等支援実証事業）の事業計画、浜厚真野原公園の管理状況について調査を行いました。

産業建設常任委員会

主な質疑

緊急雇用創出推進事業（宅配サービス等支援実証事業）



宅配サービス車



移動販売車



問 商工会へ委託した宅配サービス事業の目的は産業経済課主幹 買い物に行くための手段がない、または、身体が不自由で買い物に行くことができない高齢者に対して宅配サービスや移動販売を行っている。

問 宅配サービス登録者43人の内、自力で買い物に來られない方はどれくらいいるか。

産業経済課主幹 買い物に行けない方の実態は把握していないので、調べたいと思う。

問 取扱品目が13種類あるが、これに関連したお店が何件あるか。



野原公園の遊歩道

産業経済課参事（把握していないので）確認させていたたく。

問 遊歩道の管理状況は、建設課主幹 遊歩道は700mあり、草刈りは月1回、年間5回程度行っている。

浜厚真野原公園の管理状況



開店準備中の管理棟

問 管理棟（借主、梅内誠）の貸出し条件は、建設課主幹 造作したものは退去時に原状復帰、保証人、納税状況などである。

問 NPO法人（YAG ENフットボールクラブ）が食品を販売しているようであるが問題ないか。

建設課長 確認させていたたく。



問 設置許可施設（許可者、株めぐみ水産）で千歳のサーフショップの方が運営しているが、また貸しにならないか。

建設課主幹 めぐみ水産に雇われて販売しているという状況なので、また貸し状態とは認識していない。

問 設置許可施設（許可者、安岡健次）は設置許可期間終了後撤去するということだから、確実に行われるか。

建設課主査 今後の方針については、近い内に判断したいということを確認している。

浜厚真野原公園施設の状況

公園の概要

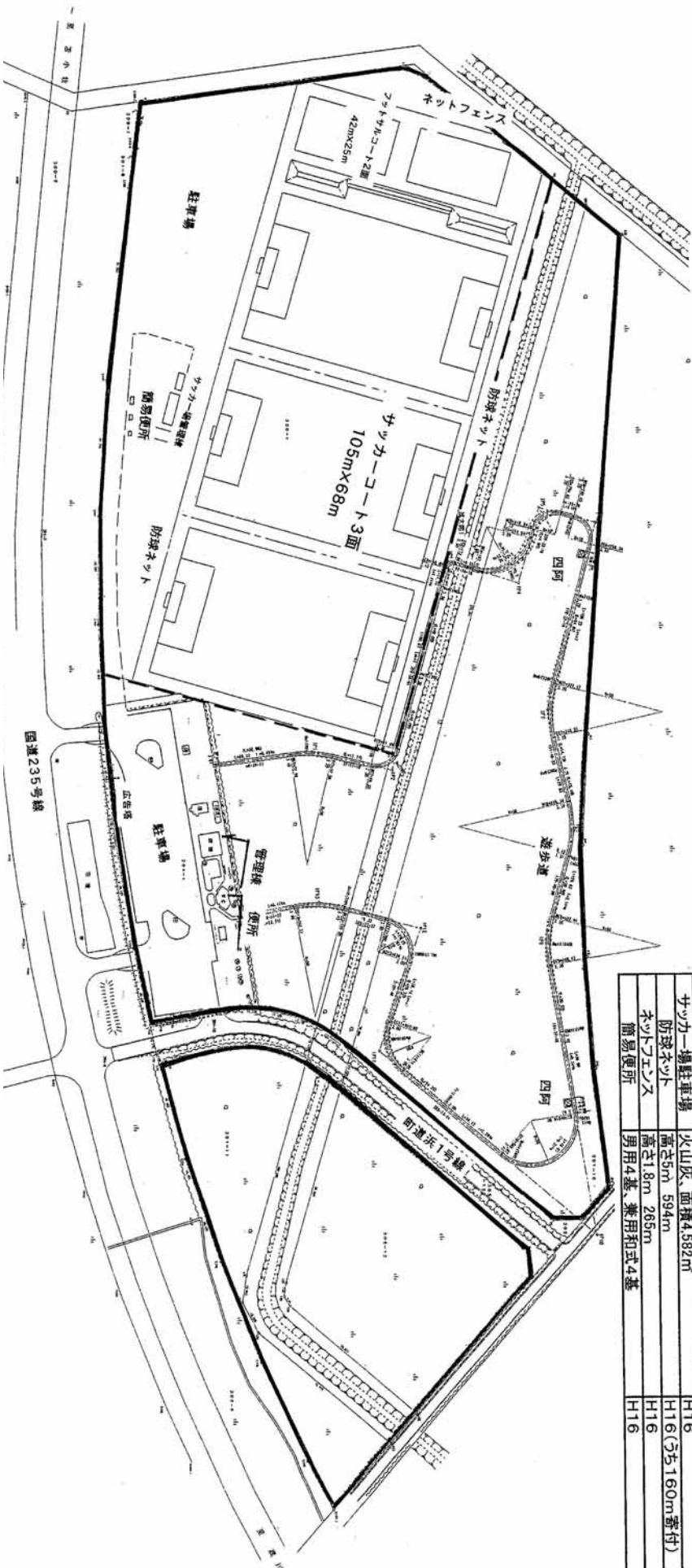
公園設置年月日	平成3年10月9日	
面積	112,807㎡	
主要施設	構造・規模	設置年度
管理棟	軽量鉄骨 床面積89.1㎡	H3、H16(外壁改修)
便所	セラミックフローリング 床面積26.85㎡	H4
駐車場	アスファルト舗装 面積3,965㎡	H5、H16(拡張)
広告塔	鉄骨 高さ10.5m	H4
遊歩道	幅1.5m、延長7.52m	H16
四阿	1.8m×1.8m×2.1m 2基	H16
サッカーコート	105m×68m 3面	H16(密付)
ソフトサルコート	42m×25m 2面	H16(密付)
サッカー一場管理棟	木造 床面積46.28㎡	H16(密付)
サッカー一場駐車場	火山灰、面積4,582㎡	H16
防球ネット	高さ5m 594m	H16(うち160m密付)
ネットフェンス	高さ1.8m 265m	H16
簡易便所	男用4基、兼用和式4基	H16



野原公園の植生を確認



大きなサーフボードは野原公園のシンボル



町の財政は大丈夫？

平成25年第3回定例会で平成24年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告がありました。

健全化判断比率は、平成20年4月に施行された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断するために4つの指標を定めています。

資金不足比率は、公営企業の経営について判断するものですが、厚真町では簡易水道及び下水道特別会計が該当します。

指標名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	基準値	解説
実質赤字比率 (健全化比率)	—	—	—	15.0	一般会計の赤字を指標化したものです。 平成24年度も黒字でした。
連結実質赤字比率 (健全化比率)	—	—	—	20.0	特別会計も含めた全会計の赤字を指標化したものです。 平成24年度も黒字でした。
実質公債費比率 (健全化比率)	16.0	15.0	14.0	25.0	一般会計等が負担する借金の返済額を指標化したものです。 基準値を下回っていると共に、3年連続で改善しています。
将来負担比率 (健全化比率)	50.6	41.2	14.2	350.0	一般会計等が将来的に負担する借金を指標化したものです。 基準値を下回っていると共に、3年連続して改善しています。
簡易水道事業 特別会計 (資金不足比率)	—	—	—	20.0	簡易水道特別会計の経営状態は健全です。
公共下水道事業 特別会計 (資金不足比率)	—	—	—	20.0	公共下水道特別会計の経営状態は健全です。

議会広報に求められるものは？

北海道町村議会広報研修会に参加して

吉岡茂樹 議員

平成25年8月20日開催

8月20日札幌市において全道町村議会広報研修会が、105町村462名の議会広報関係者が集まり開催されました。

「議会広報に求められるものは？」と題して、広報コンサルタント深沢徹氏による講演が行われ、議会広報のあり方「ありのままに・分かりやすく・住民とともに」を限られ

た紙面で表現するかについて、広報委員6人全員が研修しました。

議会広報には、町報とは一味違う議会独自の視点で調査、研究、視察研修、政策提言につながる活動を町民に伝えること、また、住民とともにつくる姿勢をモットーに、誰にも分かりやすく読む気になる広報づくりを目指して、特に財政面での町の借金と貯金については予算・決算に目を光らせ、財源と使途についての審議・議決結果など重要な情報について、紙面を通じて的確に報道する役割があることを改めて確認しました。

議会広報に対するご意見等をおよせいただきたいと思います。



白老町バイオマス

燃料化施設視察報告

井上次男 議員

平成21年4月1日より公設民営で本格稼働をしているこの施設は、白老町の燃やせるゴミ及びびペットボトル等を固形燃料として生まれ変わらせ、日本製紙(株)のボイラー燃料の一部として供給している。

施設の中には1回約2・4トンのゴミを6時間かけて高温高圧処理するタンクが3基設置されている。

当初、原料ゴミの中には事業所系の生ごみが多く生成物の塩素濃度が高かったため、処理能力が上がらなかつた。適正塩素濃度を保つための対策がとられたが、現在は財政上の問題もあり対策として8時間稼働を検討している。



北海道におけるニューツーリズムの推進等について勉強した。

胆振管内町議会議員研修参加報告

下司義之 議員

10月2日に壮瞥町で胆振管内町議会議員研修会が開催され、本町から議員全員が参加した。

講演は、北海道開発局の松野康夫さんを講師に招き、「来道外国人観光客によるサイクリング観光の振興に向けた基礎調査他について」という内容だった。

北海道の観光消費額は約1兆3千億円と推計され、これは平成23年の農業産出額(1兆100億)を超える消費額となっている。

訪日外客は約70万人。全国シェア約9・5%となり、国別に見ると、台湾、韓国、中国等アジアが圧倒的に多く、全体の80%を占めている。旅行形態は、ルートが決まった団体のパッケージ

ツアーが60%。旅行の同行者は家族旅行が60%。団体旅行は年々減少し、1割を超えるに過ぎない。日程的には4泊5日が一番多く、60%を占めている。

目的は、観光名所巡り、温泉・保養、自然観賞、ショッピング、特産品の買物・飲食が上位を占めているが、ゴルフなどの体験型の目的もみられる。情報の取得方法は、インターネットが一番多く、次いで旅行会社となっている。

交通手段は、観光バス、観光バスの利用が70%近くを占め、次



いで鉄道が30%近くとなっている。旅行回数は7割が初めてで、5回以上のハードリピーターは約5%程度である。

まとめると、外国人観光客の旅行促進にはニューツーリズムの推進等が必要であると考えられる。ニューツーリズムとは、エコツーリズム、グリーン・ツーリズム、文化観光(祭りや伝統芸能、アート、食文化の体験)、観光振興(工場見学やものづくり体験)などで、「主な観光スポットを回るのはなく、より地域の人とふれあう観光」が人気。今回は、スポーツツーリズム、「みる」「やる」「支える」の中の「やる」スポーツとしての、サイクリングの振興についてがテーマであったが、来外国人観光客で一番のシェアである台湾は、健康意識が高く、自転車の世界的メーカーもあることから、北海道観光のツールとしてサイクリングの振興は有望とのことだった。



木本清登 議員

一般質問

ここが聞きたい

農業振興策

農業後継者に対する
町独自の支援は

答 さりなる財政負担の考えはない

問 基幹産業として土地利用型農業が主な本町において、農地解放と真逆の政策、大規模農地集約型の政策が必要であると思う。

農業後継者に対して、町独自の施策を検討し潜在的体力をつけるために、農地取得、大型農業機械の購入に対して3割ないし4割という思い切った支援制度の確立を検討しては。

町長 現状では、農業者の皆さんの経営努力、高齢化等の推移、地域の話し合いが十分に効果を発揮していて、適正な移動が起こっていると思うので、今の段階でさらなる財政負担の必要はないと考えている。

こぶしの湯の運営

公金依存に大きなメスを

答 必要に応じた改善勧告をする



こぶしの湯あつま

問 運営努力が見られず、ただ単に話題性のある自己満足的イベントが多く、費用対効果を無視した採算性度外視の財政的努力を怠る甘えた運営では、修繕費を加算した金額が毎年町民一人当たり一万円を超える負担をしてまでも必要な施設か。これ以上具体的運営努力のない公金依存の運営しかできないのでは、思い切った大きなメスを入れる事も検討視野に入れなければならぬのでは。

町長 管理期間が1年目となる平成24年度の実績によると、経営上損益

問 運営努力が見られず、出超過であり、これを受けて町でも指定管理者にすべて任せるのではなく、モニタリングマニュアルを策定し必要に応じた改善勧告をしたい。また、四半期ごとに連絡調整会議を実施し指定管理者との連携を密にする。

運営面は計画と比較するとまだまだ道半ばと評価している。

町長 管理期間が1年目となる平成24年度の実績によると、経営上損益

問 こんな質問もしました。「町外就労者に対する通勤手当助成制度の検討は」

答 非常に難しい。

一般質問

ここが聞きたい

交付金

厚幌ダムの交付金は

答 交付されない

問 厚幌ダムは国有資産等所在市町村交付金法の適用を受け、水道水に係る部分については同法に基づく交付金（固定資産税相当額）の交付対象になるのでは。

るかによって課税客体となるかが分かれる。

厚幌ダムは、道が所有し管理するということになるが、水道水は町が必要として町が管理するということなので、同法の適用を受けない。

町長 結論から言うと、国有資産等所在市町村交付金は交付されない。考え方は、誰が所有し、誰が管理し、誰が利用す



下司義之 議員



厚幌ダムの完成予想図

町補助金等

町税滞納者に対する補助金の制限は

答 補助目的による

問 町税滞納者に対する町補助金等の交付に関しては、規則に定められていないため制度ごとに対応している。

統一した見解を定めるべきでは。

町長 現在、町補助金は自治会や各種団体の運営関係49件、福祉や扶助的関係26件、子育て支援など教育関係8件、その他町おこしなど47件、合計129件ある。

町税等滞納者への対応については、明文化されていないが統一した見解はある。

各種団体の運営、生活弱者への扶助、子育て支援・教育、町民の生命財産に係るものは制限せず、その他は個々に判断している。

一般質問

ここが聞きたい

農業振興

6次産業化へ向けた農業施策を

答 支援したい

問 生産者の多角化、経営により農産物に付加価値を高めていくことが6次産業化である。

町の農業施策もしかり、6次産業化こそが将来において今の1次産業の生きる道と考えるが、未来のビジョンを含めた考えは。

町内を例にとると、「おふくろみそ」がその代表格と考える。

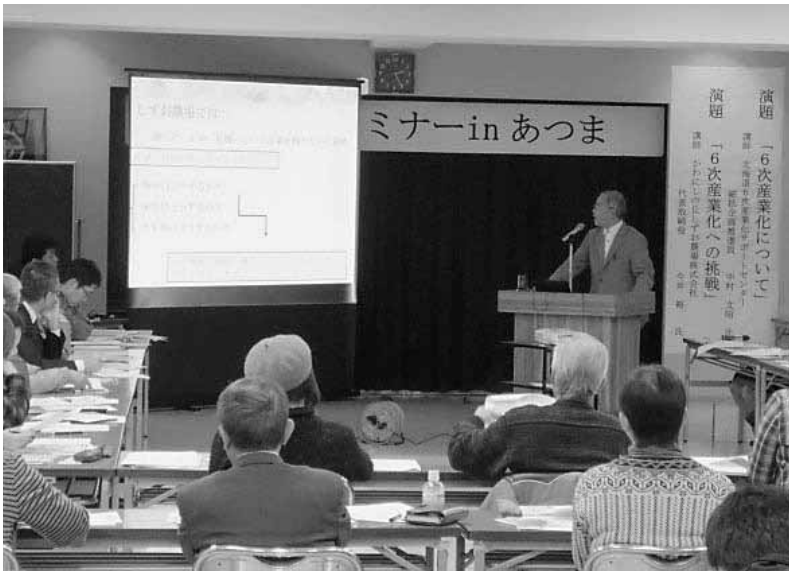
6次産業化により1次産業の悩みがすべて解決しているが、もう少し地に足をつけた状況で我々は取り組んでいくべきだと考えている。

大規模な耕種農家を中心とする本町だが、当然それ以外の農家も増える

よう支援したいと思う。



井上次男 議員



地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の任期満了後は

答 安心して活動できるよう支援したい

問 地域おこし協力隊は期間が最長で3年である。継続していくためには、本人の自効努力が第一であるが、期間延長も含めた公的支援が必要では。

町長 4年目以降、地域おこし協力隊として町の支援は考えていない。

農業支援員は、営農開始してから5年間、国の支援策がある。

観光、特産品開発支援員に対しては、起業支援型の制度設計を考えている。

林業支援員は、すぐに経営するのは難しい状況なので、会社に就業できるように道筋を整えたい。いずれにしても、安心して活動できるよう支援をしたい。

一般質問

ここが聞きたい

上厚真市街地

上厚真認定こども園の 建設予定地・運営方法は

答 25年度中に建設場所、構想を確定したい

問 上厚真の認定こども園については平成27年度開園予定と聞いているが、町有地を有効に使った建設地となっているか。

また、運営方法については、認定こども園「つみき」と同じか。

職員定数の適正化、運営費の財政負担軽減を考えた場合、指定管理者制度等を使った学校法人による運営を考えられないか。

町長 建設予定地は、

確定していない。24年度の検証、25年度構想策定がずれ込んでいるので、上厚真の整備計画・児童館建設構想と併せて、今年度中に建設場所を確定したい。

また、運営については、子供を健やかに育てるために、環境保育を含めた保育・幼児教育両方の視点で運営評価も高い「つみき」と同じ

運営方針で行う。



吉岡茂樹 議員



宮の森保育園に隣接する上厚真中学校跡地



宮の森保育園（上厚真）

都市計画

都市計画区域の一部見直しは

答 法の趣旨からいってできない

問 昭和45年に作成された町都市計画の見直しを行わなければ、市街化調整区域内の人口減少・活性化が図れなく、現に弊害が起きている。

都市計画区域全体を圧縮できないか道と協議をしていきたいと答弁している経過があるが、その後どうなっているか。

閉校された楢山、富野、軽舞小学校周辺などの中核地域の一部見直しをできないか。

町長 現在、事務レベルで北海道・苫小牧圏の都市計画区域を所管している苫小牧市と協議している。道としても事情が理解できるという反応であり、苫小牧圏事務局も厚真町、安平町、白老町の現状を考慮して、線引きを外した先進地視察等を行っている。

提案の一部見直しについては、都市計画法本来の趣旨から現状市街化区域を増やすことは、できない。

一般質問

ここが聞きたい

障がい者福祉

障がい者福祉自立支援施設の 設置が遅れていることの説明は

答 報告が遅れたことをお詫びする

問 平成25年第1回定例会で、町長から障がい者の自立支援施設をできるだけ早いうちに設置したいという答弁があり、総務文教常任委員会でもこの件に関して、事務調査を終了している。

町長 必要の都度、経過説明をすべきだったが、計画を練り直しているうちに報告が遅れたことをお詫びする。

今後、できるだけ早く基本計画を立て、予算確保のために努力するとともに、これまでの経過や今後の見通しも含め、再度説明する機会をいただきたい。



三國和江 議員



まちなか交流館(仮称)の設置が予定されている空店舗

野原公園

浜厚真野原公園管理棟(売店)は許可どおり 営業されているか

答 計画どおり進めるよう申し入れている

問 浜厚真野原公園管理棟(売店)は、平成24年8月8日から平成27年3月31日までの期間で賃貸契約しているが、使用料だけ支払って実際には1年近く営業されなかった。現在も土・日曜日しか営業していないが、貸すときにもっと中身を精査するべきではなかったか。町は今後、使用者にどのような指導をしていくのか。

建設課長 自前で内装をやっていたので、昨年は営業ができなかった。また、平日も営業する予定だったが、管理する人員を確保できないことから土・日曜日だけの営業になっている。

借主は、今後平日も営業したいという話もしており、物販についても町をPRする施設でもあるので、まずは計画書どおりに早急に進めるよう申し入れている。



浜厚真 野原公園管理棟

元気なあつまの子

聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部

指導者
藤江利津子さん



聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部が発足して、今年で10周年を迎えました。

9月22日には、北海道地区決戦大会の各部門で優勝した、当支部の山川

侑美さんと山野下明音さんが、大分県で行われた全国名流吟剣詩舞大会に出場しました。

聖月流日本吟剣詩舞道は、一、礼節を重んじ豊かな人間形成に務める。

二、人の心を大切に信頼の輪を広げる。三、師を尊敬し子弟を愛し会員相互の親和を図る。四、聖月流を誇り日本古来の芸術を継承する。五、吟剣詩舞を通じて地域文化の向上に努める。の五訓を念頭にしており、全国大会に出場した2人も、支部の会員と共に団結して練習に取り組み、初心を貫徹できました。

吟剣詩舞道を通じて、人と心を育み、文化の発展向上と明日の夢を見て活動する、吟剣詩舞道会厚真支部では、日本古来の芸術を継承してみたいと思う方を募集しています。

農業支援員

地域の話題⑩



幌里の山奥深く、衛生管理区域立入禁止と赤字で書かれた真新しい看板がある。6年前就農を決意し、



小林 廉さん

厚真町に移住して3年目、地域おこし協力隊（農業支援員）小林廉さんがやっとなつつけた小さな農地として、かけがえのない場所。ここが、小林農園だ。

現在、飼育している鶏は200羽、間もなく300羽になり初めての卵も産まれる。5年後には親鳥500羽、ひよこ100羽の鶏卵農場を目指す。



鶏卵農業を選択した理由を聞いてみた。「生き物が好きなことと、過去に養鶏に携わってきたなかで、市販の卵はアレルギー等で食べられないが、僕がやろうとしているような作り方の卵だと、安心して食べられるという人が思ったより多いこと。安心、安全なものを生産提供できることにやりがいを感じます。」とのこと。

小林さんの作った、美味しい卵を早く食べたい。頼りになる番犬?チクワ



頼りになる番犬?チクワ